

しかおい議会だより

第162号

- 3月定例議会 ②
- The 予算・質疑 ④
- クローズアップ2024・予算 ⑥
- 町政を問う・一般質問 ⑨

■発行者 北海道鹿追町議会
■2024（令和6）年4月25日発行
【E-mail】 gikai@town.shikaoui.lg.jp
【URL】 <https://www.town.shikaoui.lg.jp/>

2024年4月

「ラストメモリー」

撮影者 鹿追高校写真部3年
佐藤道人さん



議会ホームページ 🔍 検索

令和6年度
一般会計予算

75億9000万円
前年度比7億800万円(10.3%)増

全会計総額 105億4260万円
前年度比10億2716万円(10.8%)増

可決



カーボンニュートラル



教育支援

持続可能な
まちづくりを
推進



安心して暮らせるまちづくり



子育て支援

3月定例議会
3月5日~19日

- 令和6年度各会計予算
- 鹿追高校寄宿舎設置条例
- 町営牧場管理条例

3月定例議会は15日間の会期で開かれ、喜井知己町長から町政執行方針、渡辺雅人教育長からは教育執行方針が述べられた。

町提出案件は34件、議会提出案件は3件で、令和6年度予算、新規条例、条例改正、補正予算等全てを可決した。

令和6年度各会計予算は、予算審査特別委員会（清水浩徳委員長）を設置し審査した。

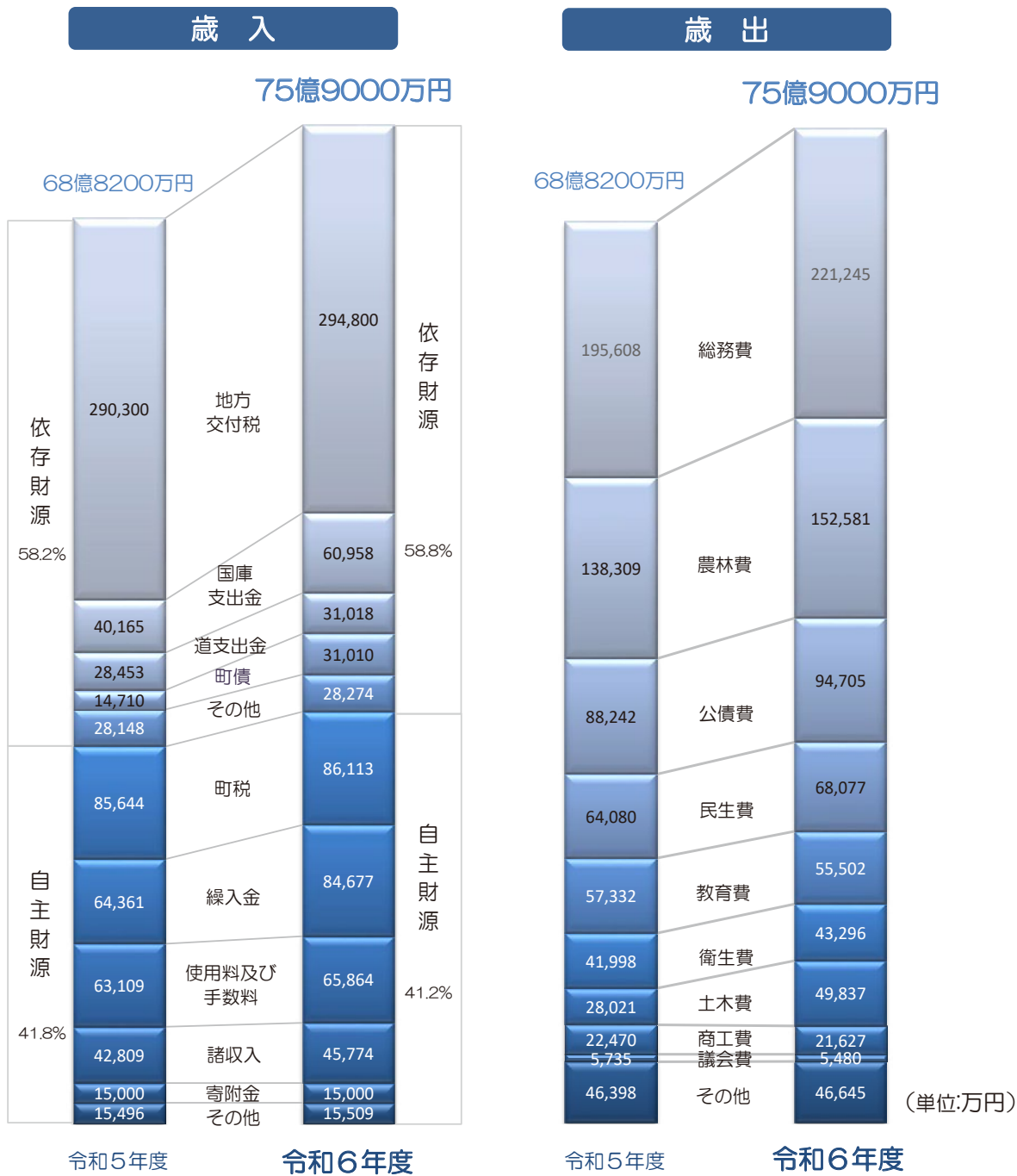
令和6年度一般会計予算は、前年度比10.3%増、令和5年度当初の骨格予算に政策予算を追加した額からは1.6%増となった。

主にカーボンニュートラル推進事業1億4400万円、教育支援1億700万円、防災・生活環境整備8億3100万円、農業・商工業振興2億600万円等により増加した。



令和6年度各会計予算審査特別委員会にて委員長あいさつ

一般会計予算



※1万円未満切り捨て。各科目ごとの合計は、総合計と一致しない。

会計区分	令和6年度(万円)	令和5年度(万円)	比較増減(万円)	対前年度比(%)	
一般会計	75億9000	68億8200	7億800	110.3	
特別会計	国民健康保険特別会計	7億6479	7億6704	△225	99.7
	病院事業会計	6億7359	6億4592	2,766	104.3
	簡易水道事業会計	2億6465	—	皆増	皆増
	簡易水道特別会計	—	2億266	皆減	皆減
	下水道事業会計	5億9559	—	皆増	皆増
	下水道特別会計	—	3億9830	皆減	皆減
	介護保険特別会計	5億4251	5億1691	2,560	105.0
	後期高齢者医療特別会計	1億1144	1億257	887	108.6
合計	105億4260	95億1543	10億2716	110.8	

※簡易水道および下水道特別会計は、公営企業会計となるため会計名を変更している。



算・質・疑

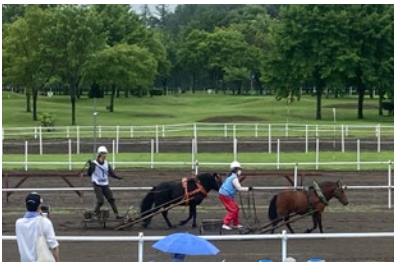
(清水 浩徳 委員長) で令和 6 年度の予算を審査した
下記のとおり。

総務費

競ばん馬競技大会に代わる企画

Q 瓜幕で行われていた競ばん馬競技大会が終了した。競ばん馬大会に代わる新たな企画は。

A 決まっていない。地域の皆さまが行なっているイベントを大きくしたい。



競ばん馬競技大会終了後の企画

総務費

高齢者等タクシー利用助成券額面変更

Q 高齢者等タクシー利用助成券を 1 枚 500 円から 670 円に変更したが、使いづらいのでは。



タクシー利用助成券の額面変更

A 初乗り運賃が 550 円から 720 円となり、従来どおり助成券 1 枚と利用者負担 50 円とした。

総務費

財政計画と公有財産の利活用



財政計画及び公有財産利活用方針が示された

Q 令和 6 年度の財政計画と公有財産利活用方針は。

A 町財政は、経常経費や起債償還の推移を判断しながら計画的に進める。公有財産の利活用は、検討委員会で協議した。今後、行財政改革推進本部を中心に方針を決めて進めたい。

商工費

ふるさと納税増額の具体策

Q ふるさと納税を増額するための具体策は。

A SNS活用、旅先納税PR用ポスター作成、ポータルサイト対策、返礼品カタログ作成を予定している。また、飲食・宿泊・体験等の商品も開発したい。



ふるさと納税をリーフレットでPR

農林費

みんなの木育広場(仮称)整備内容

Q みんなの木育広場(仮称)を整備するが、事業の全体像は。



木育広場が整備される瓜幕地区

A 国道 274 号の鹿追駐屯地北側 S 字カーブ付近に、木育を目的とした広場を整備する。施設整備は 3 年で行う予定。

事業主体は西十勝森林組合で、森林環境譲与税を活用する。

民生費

寿勤労会の体制と処遇



寿勤労会事務所
魅力ある組織づくりを

Q 寿勤労会の賃金は、北海道の最低賃金で設定しており、魅力ある組織とは言えない。検討が必要では。

A 北海道の最低賃金をベースに、作業内容で 3 段階に設定している。ワークシェアリング等も含め、体制や処遇を改善するよう調査研究したい。

The 予

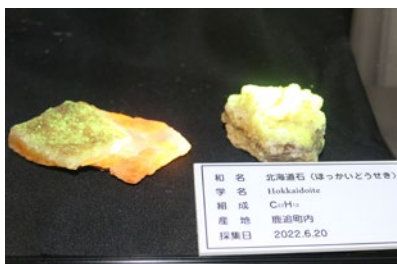
3月18日に開催された予算審査特別委員会
結果、全て原案どおり可決した。 主な質疑は

教育費

北海道石の保護と保全

Q 北海道石の保護と保全対策、予算は。

A 化石の年代や地質、埋蔵量等の調査研究が必要である。また、有識者を含め検討会議を開催したい。調査計画や費用を明確にしたうえで予算を提案したい。



町指定文化財の北海道石

教育費

新図書館建設の方向性

Q 令和5年3月に新図書館建設検討委員会から答申された。4年間の検討結果である。今後の方向性を示してほしい。



整備が期待される図書館

A 建設には多額な財源が必要である。建設場所、運営形態、遊休施設利用等の問題もある。今しばらく検討したい。

土木費

しかりべつ川公園パークゴルフ場木道



立ち入り禁止になっている木道

Q しかりべつ川公園パークゴルフ場沿いに木道がある。数年前から壊れて立ち入り禁止になっているが修復の予定は。

A 修繕をしながら使用していたが、現在は根元から腐食し使用不能である。撤去も検討している。

総括質疑

行財政改革の見直し

Q 行財政改革を進めて3年経過した。見直しが必要では。

A 各種事業内容や団体に対する補助金を見直した。財政計画も随時見直し、行政改革の効果を検証する等、内部で議論したい。



役場内部で行政改革を議論

総括質疑

予算編成における重点項目

Q 新年度予算を編成するうえで重点を置いた項目は。



大規模改修が行われる町民ホール

A 町民ホール他公共施設の大規模改修、鹿追高校支援、国際バカロレア教育等である。また、農業基盤整備や観光等全体のバランスをとりながらもメリハリを付けて事業を行いたい。

病院会計

国民健康保険病院の年間患者数算定根拠



国民健康保険病院

Q 収入予算の基準となる入院・外来年間患者数の算定根拠は。

A 過去の入院・外来患者の動向から各患者数を見込んだ。過大にならないよう、確実な人数で予算化した。



事業が進められます



瓜幕エリア自然体験留学センター 新設等検討業務委託

4386万円

建物で消費する年間のエネルギー収支をゼロにするZEB化事業を継続して行う。令和6年度は基本設計を行う。



役場周辺エリアZEC化 改修等検討業務委託

2149万円

エネルギー消費量を限りなくゼロに近づけるZEC化事業を継続して行う。令和6年度は業者の公募と選定を行う。



子ども医療費等助成

3209万円



高校生まで医療費無料。ひとり親家庭等医療費助成制度では、母または父の入院・通院も助成対象となる。



重点対策加速化

3232万円



家庭用および事業者用太陽光発電・蓄電池・エネルギーマネジメント・高効率給湯器等の再エネ導入に対し補助する。



新規

子ども・子育て 支援事業計画策定委託

495万円

新たな国の指針「こども大綱」に基づき、町の教育・保育・子育て世帯の現状等を分析、見直し、計画を策定する。



出産・子育て応援

1377万円

妊娠届を提出した妊婦の方に5万円、出産し児童を養育する方に子ども1人当たり5万円給付する。



住まいのゼロカーボン化推進 1045万円

重層的支援 6896万円

しかおい水素ファーム管理委託 7500万円

町有林整備事業 1771万円



カーボンニュートラル



子育て支援



安心して暮らせるまちづくり



教育支援

今年の**予算**でこの



新規

防災行政無線放送 施設整備

6123万円

防災行政無線をデジタル方式に更新する。音声放送のほか、モバイル端末への連動等が可能になる。



新規

公営住宅解体

6114万円

南町の公営住宅を解体する。解体跡地には、再エネ・省エネ機能を取り入れた道営住宅が建設される予定。



拡充

鹿追高等学校 通学費外助成

2518万円

入学者に支援金を支給する。また、公共交通機関等による通学、町内の寮・下宿利用や見学旅行に対し助成する。



新規

庁舎冷暖房設備整備

1億6200万円

役場庁舎に冷暖房設備を整備する。防災拠点・指定避難所としての機能を強化し、快適な環境をつくる。



新規

鹿追高等学校 シェアハウス運営

1285万円

鹿追高校生用寄宿舎の管理運営を行う。ハウスマスターや調理員を任用し、高校生の生活支援を行う。

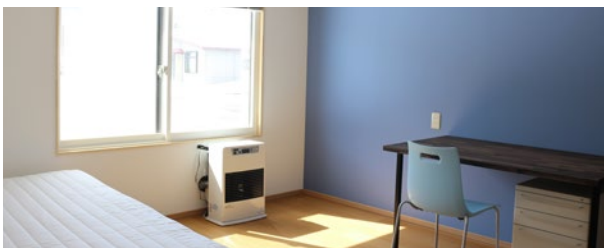


拡充

国際バカロレア

2311万円

鹿追中学校および瓜幕中学校の国際バカロレア認定に向け、コーディネーターの配置や研修等の事業を行う。



鹿追高校生用寄宿舎「シェアハウス」の個室

サルモネラ症予防緊急対策助成	1850万円
商工業研究開発(チョウザメ・マンゴー)	1008万円
道営土地改良	7582万円
鹿追高校生海外派遣	3693万円



議決事項

新規条例

○鹿追町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

議員と町との請負は地方自治法により行えなかったが、改正により300万円まで可能となった。

議員が町から業務を請け負った場合、その報告を義務化し公表する。

○鹿追高等学校寄宿舎設置条例

鹿追高校生用の住宅として、緑町2丁目の教員住宅を改修し、居室12部屋と食事共有スペースを1部屋設置した。

既存の鹿岩寮（緑町4丁目）使用料も一部改正した。



教員住宅を改修し、鹿追高校生用寄宿舎「シェアハウス」を設置

主な条例改正

○職員の給与に関する条例

職員の住居手当および通勤手当を改正した。

住居手当は、家賃月額の下限を1万2000円、月額支給額の上限を2万8000円に、ともに引き上げた。

改正により住居手当が減額または支給されなくなる場合、1年間は従前どおり支給される。

通勤手当は、最長距離区分の片道10キロメートル以上7100円を、区分を増やし40キロメートル以上2万4200円まで引き上げた。



役場職員住宅
住居手当と通勤手当を改正

○定住促進住宅建設奨励に関する条例

中古住宅取得要件の拡充及び有効期間の延長を行なった。取得する中古住宅の敷地購入およびリフォームも助成対象となった。

有効期間は令和10年3月31日まで。

○賃貸住宅建設促進事業助成に関する条例

民間賃貸住宅家賃助成に関する条例

各条例の有効期限を令和10年3月31日まで延長した。

○町営牧場管理条例

町営牧場の運営安定化のため使用料を改正した。

1頭につき放牧期と舎飼期を33円、捕獲料を330円引き上げた。



町営牧場使用料を引き上げ

○環境保全センターの設置及び管理に関する条例

環境保全センター使用料を改正した。

インボイス制度導入に伴い、仕入れ税額を明確にするため、家畜ふん尿・雑排水・浄化槽汚泥・廃棄物等・液肥・堆肥・試験研究施設の使用料を改めた。



環境保全センター使用料を改正

○能登半島地震義援金 100万円

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地を支援するため、義援金を贈った。



被災地支援のため町職員互助会と議会議員会からも日本赤十字社事務局（保健福祉課）に義援金を贈った

主な補正予算

○北海道自治体情報システム協議会負担金 124万円

○北海道町村会負担金（電算関係） 323万円

○一般廃棄物収集運搬委託料 94万円

○道営土地改良事業負担金 1045万円

○町営牧場指定管理委託料 281万円

○有害鳥獣駆除報償費 33万円

○町道除雪委託料 2400万円

○排雪タンブ借上料 130万円

○鹿追高校寄宿舎臨時舎監用ベッド購入 5万円

○公共施設暖房用・公用車燃料費（全会計分） 257万円

請願・意見書

○将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する請願・意見書

鹿追町農民団体連絡協議会（武藤敦則会長）からの請願を採択し、国に意見書を提出した。食料・農業・農村基本法の改正にあたり、農業予算を拡充し、農業基盤整備や官民一体となった備蓄制度を構築すること。

適正価格の形成については、農業者が生産調整を強いられないよう、消費者への理解醸成を図り、新たな所得政策を構築すること。

主な質疑

【行政報告】

（安藤議員）

Q 農業経済団体のトップが来庁したが、情報交換等があったか。

A ホクレン代表理事副会長が来庁された。令和5年度のビートに係る情勢と、令和6年度以降の見通し等について話があった。

まちなか会議

議員とカフェでひとことを開催します

まちや議会に関する疑問や意見、ちょっと気になるwつw話題等

令和6年5月21日（火）午前11時00分より

狩野 正雄 議員と安藤 幹夫 議員が平成館でお待ちしています！

（予約は不要です）

少人数でお待ちしております。皆さまお気軽にお越しください！



町政を問う。

3月14日、5人の議員が登壇し、一般質問を行なった。

観光振興

Q 「ホテル福原」再開のめどは

A 決定事項なく進展していない



狩野 正雄 議員

（質問） 然別湖畔にある「ホテル福原」は2017年3月から営業を休止し7年となる。

民間施設だが、鹿追町の観光振興の中心施設として多くの旅行者を迎えてきた。

これまでの状況、経過と、ホテル再開に必要な条件は。

（答弁）喜井町長

ホテル所有者の再建計画や施設の譲渡交渉、新事業者による再建計画が示されたが進展していない。民間施設のため動向を見ていたが、然別湖畔の景観や観光振興等の停滞を考慮し、町・所有者等の関係者で情報共有を行なってきた。

再開の条件は、敷地は林野庁が、施設整備は環境省が設定している。

町からは環境に配慮した「ゼロカーボン化」の取り組みへの協力をお願いしている。

（質問）

休止施設再建の先進事例や情報収集による研究が必要では。

（答弁）喜井町長

北海道内でも環境省や観光庁の補助事業を活用し、ホテル廃屋の解体や再建計画を策定している事例がある。

新事業者が決定した際は、宿泊・体験・物産等の事業者を交え、然別湖畔エリアの再生に向け議論の場を設けたい。先進事例等を調査・研究し、補助事業を活用したい。



休業中のしかりべつ湖「ホテル福原」



高校支援

Q 鹿追高校への支援体制は

A 今後もしっかり取り組む



金子 孝伸 議員

(質問) 鹿追高校の令和6年度出願者数が令和5年度から飛躍的に増えた。町全体でのさまざまな取り組みの成果だと考える。この結果をどのように分析しているか。また新たな支援体制づくりは。

(答弁) 喜井町長

十勝管外、道外からの出願に加え、札幌圏、十勝管内からの出願者も増えた。広報等を委託している「地域みらい留学」のPR活動の成果もあり大きく増えている。

生徒主体によるさまざまな活動やカナダ短期留学、海外留学等、多様な学習機会を応援する姿勢が受け入れられている。

さらに鹿追高校みらい留学コーディネーター(地域おこし協力隊)を配置して戦略的にPRを進め、高校からの出口論として海外留学支援等、生徒や保護者に多様な選択肢を提供している。

高校の持続的発展は地方創生の重要な柱の一つで、総合計画や教育大綱でも重点的な位置付けをもって支援している。

今後の情勢を的確に捉え、さらなる人材と展開する事業を有機的に結び付けていく体制整備が重要である。

(質問)

鹿追高校への支援は学校教育課が中心となり進めているが、魅力ある高校を継続することに特化した人員配置が必要では。町のにぎわい創出、町独自の教育体制が認知されると、ここで子供を産み育てたいという人も増えると思うが。

(答弁) 喜井町長

人員配置の必要性は認識している。検討したい。「まちづくり」の大きな根幹である地方創生にぎわい創出に高校の存在は大きい。



町が運行する無料の通学バス

Q 子育て世代・高齢者の仕事づくりを

A さらに研究したい



佐々木 康人 議員

(質問) 寿勤労会は、高齢者の培った経験や知識で地域に貢献し、健康維持を図りながら作業を行なっている。昭和58年に発足し、40年のノウハウを継続しながら、子育て世代の新たな雇用がさらに生まれるよう、官民が一体となったワークシェアリング等仕事づくりの構築が子育て支援と高齢者支援の双方の側面からも必要では。

な雇用がさらに生まれるよう、官民が一体となったワークシェアリング等仕事づくりの構築が子育て支援と高齢者支援の双方の側面からも必要では。

も、積極的に関与すべきでは。

(答弁) 喜井町長

子育て支援と就労の関係を結び付け、できるだけ良い仕組みが作れるように努力をしたい。

(質問)

鹿追町の子育て施策は、18歳までの医療費無料化等充実している。もう少し情報発信を広めては。

(答弁) 喜井町長

町の情報発信をさらに強化すべく取り組んでいきたい。

(質問)

住民参加型の子育てサポートでは、高齢者も関わりながら住民同士のつながりを確保していくことが、ますます鹿追町では必要になっていく。町の子育て施策として



寿勤労会による花壇の草取り

(質問) 鹿追町の次の100年のために最も重要なことは、人材育成である。人口減少、社会的環境の変化等で組織や各種団体の構成員が減少し、かつてのような活動が困難になっている。



黒井 敦志 議員

人材育成

Q 次の100年のための人材育成は

A 次代を担う青少年教育・育成が重要

(答弁) 喜井町長 活動を組織や団体に任せるだけではなく、的確な助言や支援が必要であり、それにより変化や新しい形が生まれる。新しい発想で現状を変えるため、人材育成が急務では。

(答弁) 喜井町長 地域社会や組織を形成する個々の成長は、地域全体の発展や繁栄につながり、次代を担う青少年の教育や人材育成は最も重要である。能力開発は地域の発展に不可欠で、町を文化的・経済的に発展させる大きな力である。人や地域コミュニティ、各種団体の活性化は、地域社会の持続的な成長に不可欠なものがある。社会状況を注視し、地域の自主性・主体性を尊重しながらニーズを把握し、時代に合った未来を見つめた人材・団体育成を推進する。



十勝町村会主催の職員研修

(質問) 小・中・高校生に令和2年度から導入したタブレットパソコンでの学習効果や課題は。現在使用中の台数と故障や紛失の状況は。更新計画、費用、保護者負担は。



山口 優子 議員

教育

Q 小・中・高校生の学習用タブレットパソコンの更新計画は

A 令和6年度に高校、令和7年度に小・中学校分を更新

(答弁) 喜井町長 本町では積極的にICT環境の整備を進め、学習の内容に応じて変化するアプリの導入等で、各児童生徒に適した学習環境が可能となり、より主体的に学習に向き合うようになった。また、教員や保護者の連絡業務の負担軽減や情報共有が容易になる等のメリットがある。課題は教員や保護者のITリテラシーに差があることである。

(質問) 現在使用中の台数は、児童生徒用で652台、教職員用で93台の合計745台、故障等は本体8台、付属品は23個あった。更新計画と費用は、高校生分が令和6年度で900万円。小・中学校分は令和7年度に2700万円で、文科省の補助事業を活用する。保護者負担は、高校生分が付属品を予定し、小・中学校は未定である。

(質問) 児童生徒の利用実態を把握しないで使い方や指導上の課題は見えないのでは。不安を訴える家庭もあるが。

(答弁) 宇井学校教育課長 利用実態の把握は、プライバシーの観点から難しい。各家庭でのルール、インターネット・スマートフォンについても併せて考えていきたい。(質問) 教育行政に係る予算で、町の財政が厳しいから高校のカナダ短期留学は日程を短縮したい、タブレットの付属品は保護者負担にしたいという説明で良いのか。(答弁) 喜井町長 保護者負担と高校支援の全体のバランスを考えた上で、高校支援を続けていきたい。





鹿追中学校総合的な学習

「未来への提案」発表会



鹿追町総合計画の目標達成に向け提案



鹿追中学校3年(当時)
梅木 蓮さん

令和6年2月7日に、鹿追中学校で3年生による総合的な学習『未来への提案』発表会が行われました。

鹿追町総合計画の目標を達成するための提案として、10グループから発表されました。

傍聴者からは「住民が参加できるようにしようとする考えが良い」、「スライドの構成や発表の仕方が良かった」等の感想がありました。

昨年、鹿追町へ引越してきましたが、来てよかったと思います。鹿追町は一人一人に真摯に向き合ってくれると感じます。以前通っていた学校ではスライドを使って発表することはほとんどなく、議員の皆さんが来て下さる機会はなかったので驚きました。発表への意見や感想をいただき、とてもありがたかったです。

(取材・インタビューー 黒井敦志)

上幌内保育所閉所式

ありがとう会



ありがとう会でのバルーンリリース

令和6年3月27日、上幌内保育所の閉所式が行われました。

昭和39年に季節保育所として始まり、昭和63年からは通年保育所として88人の修了児を送り出し、60年の歴史に幕を下ろしました。

式には、卒所児や保護者、地域の皆さんが出席し、閉所を惜しみました。

最後の修了児童6人による歌、保護者と共に踊るよさこいが披露されました。



上幌内保育所 父母の会
会長 高橋 愛さん

ご指導いただきました先生方には豊かな自然を生かした、伸び伸びとした保育をしていただき、父母一同、安心して子供を預けることができました。地域の皆様のご協力、ご支援をいただきありがとうございました。

(取材・インタビューー 山口優子)

編集後記

このところ、学生時代に学び使った教科書、ノートを読み返しています。きれいな教科書があれば、ボロボロの教科書もあり、自分の得手不得手の度合いが見て取れます。

そんな教科書を今に役立てる再学習のことをリカレント学習と言うそうです。「一生青春、一生勉強」生きるを楽しむためのキーワード。

皆さんにもお勧めします。

議会広報部会 部会員 金子 孝伸

議会広報広聴常任委員会 広報部会

- 部会長 佐々木康人
- 副部会長 山口 優子
- 部会員 青砥 敏一
- 金子 孝伸
- 黒井 敦志